

雑がみ分別袋 市が無料配布

スーパーなどで

浜松市は紙類の分別リサイクルを進めるため、市内のスーパーやドラッグストア、書店など計86店で、雑がみ分別袋（横24センチ、縦33センチ）Ⅱ写真Ⅱの無料配布を9日に始めた。用意した7万4千袋がなくなり次第、終了する。

市は、2028年までに



市全体のごみ総排出量を19万3055トン以下に抑える目標を設定。同年までに家庭からのごみ排出量を、市民1人1日当たり404グラムまで減らすキャンペーン「Go!みんな404チャレンジ」を昨年から進めている。家庭からの燃えるごみのうち、紙類は約2割を占めるという。

配布する雑がみ分別袋は、22年度に静岡文化芸術大学の学生だった佐野颯海さん

んがデザイン。雑がみの再生をイメージさせるループと、紙の原料が木であることを思い起こさせる葉を組み合わせた緑のロゴをあしらっている。

雑がみ分別袋がいつばいになれば、民間の古紙回収所や市役所、各地域の協働センターなどに持ち込む。

（勝間田秀樹）